

学校評価の改善について

滋賀県立湖南農業高等学校

① 学校評価のこれまでの取組状況等について

本校では、10月に教職員に対して学校評価に係るアンケート調査を実施し、その結果に基づく評価を公表している。

また、1月には保護者、2月には生徒および再度教職員に対して学校評価に係るアンケート調査を実施し、学校関係者評価として本校の学校評議員にすべての結果を示し、最終評価をしていただいている。

② すでに講じた改善策について

項目により保護者評価、生徒評価においてBやCの評価も見受けられる。学校関係者評価の席では、「このことは真摯に受け止め、次年度以降の学校改善に努めることが、地域に根ざした開かれた学校づくりにつながる」と意見をいただいている。

「6.学校図書館」の評価は昨年度中間評価では「C」であったが、コロナ禍の中通信による生徒への意識の高揚や、「読書マラソン」に力を入れたこともあり、「B」評価に上昇した。図書館を使った指導案の提案、蔵書検索サイトの紹介、生徒図書委員が作成したポップの展示等、図書館の利用促進を促すべく司書を中心に改善を進めた。また、生徒の興味を引くような選書を心がけ、読書に興味を持てるように図書の実践に努めた。「しがははすくーる おすすめ本50選」に参加し、1年生1名が入選した。3年教科「実用国語」の中で集団読書に取り組むなど読書の啓発に努めた。

学校独自に、中間評価、総合評価の達成度のボーダーを上げ、厳しく評価を出し、意識的に各部署で具体的方策を出すよう取り組んだ。

③ 今後の方向性等について

「6.学校図書館」については、引き続き、図書館の様々な取り組みが生徒や保護者に伝わるように通信を個人配付し、保護者への図書館活用状況の見える化に努める。学校全体で取り組んでいる朝読書週間の定期的な実施を継続し、さらに充実させていくこと、授業での積極的な図書館活用をさらに推進していくことはもちろん、授業での利用を通じて情報リテラシーを身に付けられるようなマニュアルの作成、授業での活用提案を進めていく。

「1.学校経営」「2.学習指導」「3.生徒指導」「4.進路指導」「5.特別活動」「7.保健・安全指導」「8.人権教育」「9.環境教育」「10.事務・管理」「11.その他 学校の取り組み」で「B」がついている。学習指導や生徒指導において、生徒の教育活動に対する充実感や達成感が、生徒自身に充分感じられていない傾向が出ている。今後は、生徒自身が成長を感じ取れるよう、より丁寧な教育実践を目指して、教職員一丸となって特色ある学校づくりに努めていく。